

まち協の活動状況

若葉地区まちづくり推進協議会は8月8日(火)第2回合同部会を開催し、夏季から秋季にかけて実施予定の各種活動についての話し合いを行いました。その後、各専門部会に分かれそれぞれの事業の詳細について打合せました。

9月・10月の活動予定

第9回アンケート分析委員会 9月13日(水) 19:00～
HUS(避難所運営シミュレーション)講習会 10月 7(土) 13:00～
第3回合同部会 10月13日(金) 19:00～
(場所：若葉まちづくり推進センター)



ふれあいいきいきサロン活動者研修会

主催：若葉地区社会福祉協議会

7月24日鳥栖消防署より吉田講師をお招きし、区長会をはじめとした地域の活動をされている方々25名がご参加され「救急救命講習」が開催されました。AEDの使用法や熱中症・ヒートショックの対処法等を学びました。講師の方からは心臓マッサージのコツは「強く！早く！絶え間なく!!」

◆強く= 胸が5cm以上沈む様に ◆早く=100～120回/分のテンポで
◆絶え間なく= 中断は最小に

そして講師が力説された「慌てずに周囲の方に協力を求めること」の重要性を実感する事が出来ました。



夏季夜間パトロールを行いました

まち協安全安心部会では、夏休み期間中の青少年の見守り指導の為に、7月28日、8月4日、18日の3日間(21時～22時)若葉地区内の夜間パトロールを実施しました。延べ36名のまち協役員や有志の方々が当地区を古賀・神辺・萱方などの3つのコースに分かれて巡回しました。雨がパラついたり熱帯夜にも拘らず沢山の方のご参加に感謝申し上げます。



ポスターパネルの作成 ご協力をお願い

今年も、まち協合同部会では若葉小学校の児童が「わかばのまちを良くしよう」をテーマに描いてくれたポスターを展示パネルにして小学校正門前や町区内の各所に掲示します。パネル化作業のご協力者を募集しています。ラミネートやパネル貼付けなどの軽作業ですのでご参加いただける方のご協力をお願いします!!

日時：9月9日(土) 9時集合～11時半
場所：若葉まちづくり推進センター (TEL84-6122) 参加賞あり!

参加者募集中

高齢者交通安全教室開催します (若葉地区交通対策協議会主催)

令和5年の1～6月までに県内で発生した交通事故のうち「高齢者」が関係したものが4割を占め、また第一当事者(事故当事者の中で最も過失が重い人)も高齢者の比率が最も高かったそうです。当協議会では「みんなの安全安心」のために高齢者交通安全教室を開催します。

日時：9月29日(金) 10時～12時頃(予定)
場所：若葉まちづくり推進センター(TEL84-6122)
講師：鳥栖警察署からお迎えし、高齢者に関する交通安全講話やDVD映写を行います。(参加料無料)



連載「災害から命を守る」 **第6回 避難について(避難所 Q&A③)** まち協安全安心部会

前号に続き、防災アンケートに寄せられた避難所に関する質問にお答えします。若葉地区では、災害の状況に応じてまちづくり推進センター、小学校が市の避難所として開設されます。開設の状況は市からの避難情報をご確認ください。

若葉まちづくり推進センターは暴風に対応できているか？

窓ガラスは強化ガラスではなく、ガムテープを貼って飛散防止をし、窓から離れていただく等の対策をしています。屋根の飛散防止対策はしていません。

感染症対策はしているか？

状況に応じて避難所内の適切な換気や避難者の十分なスペースの確保につとめるなど、避難者の健康管理や施設の衛生管理については十分な注意を払って対応します。

若葉地区内の避難所の収容可能人数は？

若葉まちづくり推進センター…148人
若葉小学校…294人
※目安として1人あたり2㎡。
感染症対策等により人数を制限する場合があります。

まちづくり推進センターが避難所として開設される際の職員の配置人数は？

まちづくり推進センター開館時はセンター職員が対応し、夜間・休館時は市の職員が対応します。避難の状況により、対応する職員の人数を変更します。

※避難所の対応は、被害状況により変わります。